

75 ズグロカモメ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Larus saundersi

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

九州と沖縄では冬鳥、北海道、本州、四国、九州では不定期な渡来とされるが個体数は少ない。兵庫県では主に11-翌5月に見られる。内湾や干潟、海上に生息し、カニ類、エビ類、魚類、貝類、昆虫類などの小動物や魚類の死骸などを採食する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、本州、佐渡、角島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

姫路市、明石市、(西宮市)、加古川市、高砂市、たつの市



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

かつては稀に県南部で4-5月に1-3羽が記録される程度であり、不定期な渡来と考えられていたが、1990年前後から冬期にも定期的に記録されるようになった。2000年頃からは加古川河口やたつの市の沿岸にも少数が渡来しているが、渡来地が限定されている。

保護上の留意点

加古川河口両岸のヨシ原の湿地にはズグロカモメの餌となるカニ類が生息しており、本種の餌場の確保のため、カニ類が生息できる環境を保全することが重要。